



新年のご挨拶

有松まちづくりの会会長 竹田嘉兵衛

あけましておめでとうございます。

本年は十二支の始まり「子」年です。子年は「繁栄」の年と言われます。有松は2016年の重伝建の選定に次いで、昨年は日本遺産にも認定されました。本年はこの国の2つの大きな制度をバックとして、我々は何事にも前向きに積極的に取り組むことによってより良い有松という故郷を作り上げたいものです。

本年が皆様にとって佳きことが多々ある幸せな一年となりますことを祈っています。



日本遺産進捗状況

◎ 第2回日本遺産実行委員会（12月7日）

来年度事業計画案が各委員から提出され、事務局から名古屋市に提案されました。提案事項に関し、名古屋市からの採否のコメントは下記の通りです。現在担当部署で対応を検討中です。

- ・ 年中賑わいのある町の創出→ストーリーを構成する文化財と上手く組み合わせれば。
- ・ 松柏苑に「日本遺産」の書の展示→景観上問題なければ可。
- ・ 1号線長坂南交差点前後の陸橋に案内板設置→不可
- ・ 有松駅改札口看板の改定→可 / ・ 歴史調査の継続実施→可
- ・ ランドマークの時計塔設置→ハードな整備で、ほぼ不可能。
- ・ 外国人向けガイドツアーの必要機材の整備→可
- ・ あないびとの会名札にロゴマークを入れる→可

◎ 日本遺産ワークショップ概要決まる。

テーマ 「日本遺産のまち 有松の30年後を考えよう」

書道家万美氏の書（松柏苑にて）

DAY 1 有松の魅力を発見しよう 2020年1月26日(日)

DAY 2 有松のこれまでとこれからを語り合おう！ 2020年2月22日(土)

DAY 3 暮らす人・やって来る人の視点から、30年後の有松を考えよう！ 2020年3月14日(土)

案内役 村田尚生氏(愛知学院大学准教授)

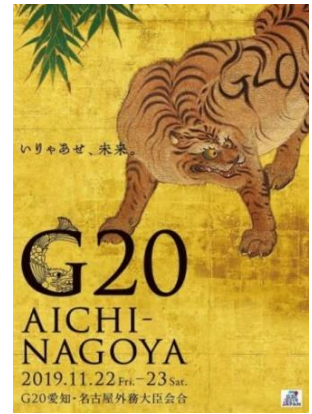


有松桶狭間観光振興協議会役員会(12月12日)

昨年12月の総会で構成員が各団体長のみになった観光振興協議会の役員会が開かれました。会長の高瀬氏からこの1年間の経過と収支の報告が、各委員からは現状報告がありました。また、平成29年度から走りだした「緑区観光ルートバス」の利用向上策についても話し合われました。

お土産は絞り、外国の皆さんも魅了！(11月24日)

昨年の11月にG20愛知・名古屋外務大臣会合が開かれ、参加者には尾張七宝の一輪挿しと絞りの手ぬぐいが贈られました。絞りの手ぬぐいには「雪花絞り」「豆絞り」「大帽子絞り」の三種の絞りが施され、通常のものより少し長めでスカーフとしても重宝されそうなサイズです。外相会合が閉会した翌日、要人に随行されていた外国人の記者の皆さんが、記念品として選ばれた絞りの産地・有松を取材に訪れました。絞会館では、絞り実演の工芸士さん達の技に見入り、通訳を交えてしきりと質問して交流。その後、指定文化財の竹田家住宅も見学して、たくさん写真に収め、日本遺産となった有松を楽しんでいました。



「はつらつクラブ」で歴史勉強会(12月9日)

緑区ルネッサンスフォーラムの皆さん4名が有松コミセンを訪れ、「有松の町並みツアー」のスライドをテンポよく見せていただきました。特に、電線が張りめぐらされていた有松の空が無電柱化後すっきりとした光景になったことに、参加者はあらためて感動されていました。質疑応答では、「豊後しぼり」「昔あった銭湯やスーパーの名前」が話題になりました。昔のことを思い出していただく機会にもなったようです。参加者25名。



無電柱化前の様子(西町)

有松中町秋葉社祭礼(12月16日)

有松は天明4年(1784)の大火でほぼ全戸が焼失し、その後、火に強い瓦葺き・塗籠造りで再建されたことをご存じの方も多いことでしょう。そのこともあって、江戸時代には秋葉講が作られ現在も5つの秋葉社があり、火除けや安全を祈願しています。中町秋葉社の講の会員は、現在40名。祭礼当日は14名が玉串を捧げました。その後、燃え上がる炎を囲みながら、「秋葉社を受け継いで行きたい」と語られていました。



中町秋葉社

歳末防犯パトロール行われる(12月21日・22日)

学区による歳末防犯・防火・交通安全・青少年育成のパトロールが21日22日の両日行われました。有松学区は本年当初、街頭犯罪被害を30件以下に抑えることを目標に掲げ、青灯パトロール等多くの地域の皆さんの協力を得て活動してきました。しかし、残念ながら11月までに32件と目標を超えてしまいました。少しでも被害をなくすよう参加者全員、のぼり旗・標語ボードを持ち、学区内を3方向に分かれてパトロールしました。



有松コミセン前出発風景

別府たけし クリスマスコンサート(12月22日)

専属ピアニストの演奏で、クリスマスソングやシャンソンなどが披露されていました。お客様は30名程。熱烈な別府たけしファンがほとんどで、間近で熱唱に聞き入っているようでした。衣装は鎧段絞りの着物に白い袴姿。別府さんは、伝統的建造物の竹田家三番蔵で歌えることの喜びをお話しされていました。



技能功労者として表彰される(11月23日)

2019年度の名古屋市技能功労者として、絞り職で2名の方が表彰されました。おめでとうございます。

○加藤和子さん

加藤さんは、「張文」という湯のし屋を営む三代目、40年近く湯のし作業に取り組まれてきました。湯のしというのは、絞りの最終工程。糸を抜き縮んだ布に蒸気を当て伸ばす作業であり、上から押さえつけられないので凹凸を残すことができるとのこと。「父の代までの勢いはないが長くやってこられてよかった」「絞りの風合いを損なわないように伸ばしている」と語っていました。

布の端を持つ2人の補助を得て専用の機械で蒸気を当てるのですが、20年以上一緒にやっている所以布幅はどれも同じでした。

○小林喜代子さん

小林さんは、有松絞りの技法の一つ竜巻絞りの達人。絞りを始めて30年程。ハンカチの絞り体験がきっかけとのこと。本格的に学びたくて教室に通い、出会ったのがこの絞り。10数年技を磨き続けてきました。竜巻絞りは生地幅に10本ほど筋目を立て絞りあげるとのこと。布を湿らせ折りたたんだ後、縄芯に巻き込んでいきます。「印がなく、自分の感覚でやるので難しい」と仰っていました。絞会館2階の実演では、1mm間隔で糸がまき付けられていました。「日本遺産になったので更に頑張ります」とのこと。

有松ゼミナールVol.7有松知新 開催(12月15日)

コンソーシアム有松主催で有松コミセンを会場に行われました。7回目の今回は、若手の建築家と哲学者のお二人をお招きし、今後の有松のまちづくりの方向性を考える貴重な機会になりました。

■建築家：津村泰範氏(長岡造形大学准教授：写真右)講演

古民家再生や文化財修復を行う建築設計事務所勤務時代に関わった長野県の千曲市稲荷山や塩尻市平沢での町屋再生の事例を紹介していただきました。遊休不動産の活用でまちに元気を取り戻したことを説明していただき、さまざまな制約の中で「この前まで住んでいたことを感じられる」ことが大事と話されていました。

■哲学者：鞍田 崇氏(明治大学准教授：写真左)講演

民芸を切り口に、まちづくりに求められているのは「新しさより良さ、良さより美しさ、美しさより愛しさ」ではと語っていました。デザインを例に、新しいものを作るだけでなく良いものを作る。美しさに留まらず愛着がわいてくるようなものであってほしいと。10年に渡る奥会津の僻村昭和村でのフィールドワークを通して、都会の若い女性が「織姫」としてこの村に引き寄せられるのは、この村の持つ気配・雰囲気があると。まちづくりでも「建物だけでなくまちの雰囲気など見えないものも大事にしたい」と。



市公会堂での表彰式



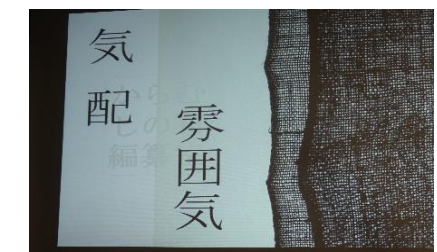
湯のし作業



竜巻絞り作業



千曲市稲荷山での再生事例



「織姫」の織った布

絞りのオーナメントでメリークリスマス！

コンソーシアム有松の発案で、冬の有松東海道を彩るクリスマスツリーが店頭など20か所に飾られました。色とりどりのオーナメントは括られたままの絞り作品です。また、イオン有松の入口(外)には桜花学園の学生さんが制作されたものが約500個飾られており、その美しさに多くの人が足を止めて見入っていました。



地域活動 有松消防団

有松消防団は現在19名。平均年齢は51歳で、19歳から65歳のメンバーで活動しています。主な活動は、毎月第1土曜日と19日の防災の日に20時から行われる定例訓練です。あと、春と秋の火災予防運動と年末特別警戒時に町内パトロールを実施しています。

有松は他の学区とは違い東海道に江戸時代から続く古い町並みが連なり木造建築が多いため、火災に対する注意が重要な地域です。重要伝統的建造物群保存地区であり昨年は日本遺産に認定され、益々防火防災の必要性が高まっているのは確かです。しかし現在、年々名古屋市全体で消防団員が減少しており、有松消防団においても大きな課題です。今後とも、我が町の防火防災のため団員一同一丸となり邁進して参ります。



最後に豆知識を一つ。消防車が出動する時にサイレンと一緒に鐘が鳴っている時は火災出動です。サイレンのみの場合は火災以外の出動です。アメリカは日本とは逆で、鎮火して消防署へ帰る時は鐘のみが鳴ります。(有松消防団団長 山田剛生氏談)

催事・行事の予定

1月01日(水)	00:00	有松天満社	開門
1月01~03日	09:00	有松天満社	元旦祭
1月05日(日)	09:00	有松青空市	商工会周り 青空市運営委員会
1月11日(土)	13:00	日本遺産第3回実行委員会	絞会館
1月12日(日)	16:00	有松天満社文嶺講総会	中町年行司
1月14日(火)	07:30	左義祭	東町秋葉神社 東町秋葉講
〃	09:00	左義長	有松天満社 文嶺講
先月15日~1月中旬		有松観光案内所	休館 コンソーシアム有松
1月21日(火)	11:30	有松あないびとの会総会・新年会	お食事處 今
1月26日(日)	07:30	かえで道清掃	有松まちづくりの会
1月27日(月)	18:00	有松まちづくりの会役員会	寿限無茶屋
1月29日~2月16日		第6回 日展東海展	愛知県美術館
1月31日~2月01日		第42回全国町並みゼミ川越大会	ウエスタ川越多目的ホール

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索

